

科目分類	養護教諭・栄養教諭 資格関連科目			開講学科	看護学科 医療栄養学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
14023	3	前期	選択	1	15
授業科目名 (英文)	特別支援教育の基礎 Introduction to Special Needs Education				
担当教員名	山崎 幸子				
授業の概要及び到達目標					
<p>○授業の概要 本科目では、特別支援教育の理念や教育課程について学び、通常の学級にも在籍している特別に配慮が必要な幼児・児童・生徒の学習や生活上の困難を理解し、組織的に対応していく支援方法を講義及び演習により学習する。</p> <p>○到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ①特殊教育から特別支援教育へと変換した理念について述べることができる。 ②特別な支援を必要とする児童・生徒の障がいの特性について概ね理解し述べることができる。 ③特別な支援を必要とする児童・生徒の教育課程について説明できる。 ④校内支援体制の整備、医療との連携について述べるができる。 ⑤校内支援会議の持ち方について演習し、支援会議の司会ができる。 					
準備学習等					
<p>○事前配布資料を配ります。参考資料と共に目を通しておき授業に臨むこと。</p> <p>○準備学習（予習復習）に必要な時間は30時間です。</p>					
成績評価の方法	○学生に対する評価 授業中の発表や協議への参加態度 20%、レポート 80%で評価する				
テキスト	○必要な資料を適宜配付する。				
参考図書	○「発達障害－生きづらさを抱える少数派の種族たち－」 (本田秀夫：SP 新書)				
備考					

授 業 計 画

授業計画

第1回：特別支援教育概論

- ・特殊教育から特別支援教育への歴史的転換
- ・特別支援教育の意義・理念
- ・法的整備等の動向
- ・特別支援教育の基本的な仕組み
- ・特別支援教育の実態

第2回：特別支援教育制度の基礎

- ・特別支援学校教育に係る障害の判断にあたって
- ・特別支援学校
- ・通級による指導
- ・特別の教育課程
- ・特別支援学級
- ・認定就学者

第3回：特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の障害の特性と医療

- ・知的障害
- ・視覚障害
- ・病弱
- ・肢体不自由
- ・聴覚障害
- ・発達障害と医療 発達障害の定義
- 脳と学習，脳の構造と働き，発生要因，合併症・依存症，予後

第4回：発達障害や特別な支援を必要とする児童・生徒の指導

- ・自立活動の位置付け
- ・個別の指導計画の作成と意義
- ・個別の教育支援計画の作成

第5回：特別支援教育コーディネーターの役割とリソースの活用

- ・特別支援教育コーディネーターと校内支援体制
- ・学校における支援体制 通常の学級における支援
- ・通常の学級における実態把握とアセスメント
- ・通常学級担任の役割と配慮指導
- ・保護者，医療，専門機関との連携
- ・校内委員会の持ち方 演習 「支援会議をしてみよう」

第6回：特別な支援を必要とする児童・生徒の個に応じた支援法の実際

- ・ソーシャルスキルの指導
- ・ソーシャルスキル領域の困難と達成すべき課題
- ・日常生活場面でのソーシャルスキルトレーニング
- ・演習 ソーシャルスキルトレーニングの実際

第7回：特別な支援を必要とする児童・生徒の個に応じた指導の実際 演習

- ・読み書きに困難を生じている児童の指導法
- ・LD・ADHD の疑似体験をしてみよう
- ・ビジョントレーニングの実際
- ・ICTを活用した指導法

第8回：特別な支援を必要とする児童・生徒の保護者支援

- ・ICF活用による環境調整 個と環境との相互作用により活動・参加を広げていく考え方を学ぶ
- ・外国人児童 ・生徒の支援法 日本語教室でのリライト教材の活用
- ・保護者面談のしかた
- ・通常学級担任のサポート法
- ・社会参加、自立に向けた就労の指導

定期試験 定期試験は実施しない。